

利水改善グループ「営農情報」 第5号

令和5年3月10日

発行：群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 編集：群馬用土地改良区

群馬用水地域利水改善グループ

おかげさまで設立50周年



「令和元年度群馬用水地域視察研修会」で、スマート農業について説明を聞く群馬用水地域利水改善グループ員
(令和元年11月28日、茨城県つくばみらい市「夢ある農業総合研究所」)

CONTENTS

群馬用水地域利水改善グループ –おかげさまで設立50周年–	1
あいさつ ・群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 会長 坂本 忠	2
・群馬用土地改良区 理事長 後閑 千代壽	2
写真で見る利水改善グループの活動	3
地域とともに生きる群馬用水の歩みと営農活動No.3	7
利水改善グループ視察研修会を39回開催	
令和4年度営農関係情報交換会を開催	11
第2回営農関係調査研究会を開催	12
イチゴ「やよいひめ」のかん水量の検証	13
令和3、4年度群馬用水地域各種表彰事業の紹介	14
令和4年度群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会役員名簿	16
お知らせ、あとがき	16

ごあいさつ



群馬用水地域利水改善グループ
連絡協議会

会長 坂本 忠

当協議会の運営につきましては、日頃から会員の皆さんより多大なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。また、ご支援、ご指導をいただいている県、市町村、JA、水資源機構をはじめとする関係各位に心より感謝申し上げます。

さて、当協議会は昭和47年8月、グループ相互の連絡協調を密にし、水利用による農業技術体系を確立すると共に、農業及び生活の合理化を推進し、地域の振興に役立てることを目的に設立されてから、このたび50周年の節目を迎えました。

設立当時は、国の稲作転換政策が本格化した時代で、当協議会は野菜、花き、果樹の園芸作物を中心に、関係指導機関の協力を得ながら、水を活かした営農改善に取り組みました。お陰様で、本県を代表するような園芸産地も多数生まれました。

これからも、目的達成のために、当協議会の充実強化に努めたいと思いますので、会員の皆さんのご協力をお願い致します。なお、今号では「写真で見る利水改善グループの活動」と当協議会の主力事業である「利水改善グループ視察研修会」について特集しましたのでご覧ください。

終わりに、本紙の発行にあたり、編集にご尽力された群馬用土地改良区の関係者の方々に厚くお礼申し上げます。



群馬用土地改良区

理事長 後閑 千代壽

昭和47年8月に発足した群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会が、本年度設立50周年の節目を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昭和46年に稲作転換対策が本格的にスタートし、従来の食料増産から米の生産調整（減反対策）へと、国の農業政策が大きく転換されました。そこで、当土地改良区では、群馬用水受益地域にある営農組織を対象に利水改善グループを立ち上げ、県農業改良普及組織の協力を得ながら、園芸を中心に新規作物の導入や新技術の普及に取り組んできました。利水改善グループ員の皆さんのご努力と関係指導機関のご支援により、お陰様で群馬用水を利用した多くの園芸産地が生まれました。

今後も当土地改良区では、用水の安定供給に全力を注いで参る所存ですので、利水改善グループ員の皆さんには、引き続き特段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。また、ご承知のように電気料金が高騰しておりますので、利水改善グループ員の皆さんには、尚一層の用水の有効活用にご協力下さるようお願い致します。

結びに、地域農業の更なる飛躍と群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会の益々の発展を祈念し、あいさつといたします。

写真で見る利水改善グループの活動

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会は、昭和47年8月に設立されてから、昨年（令和4年）8月に50周年を迎えました。この間、当協議会は主要事業である「体験発表会」や「視察研修会」の開催を中心に活動し、群馬用水受益地域の農業振興に貢献してきました。そこで、最近開催した事業を中心に、写真で活動の様子を紹介します。

1 体験発表会、各種表彰式 記念講演会

体験発表会は47回開催

「体験発表会」は、当協議会が設立された翌年度の昭和49年2月23日に、群馬県民会館（現ベシアホール）において第1回目が開催され、今までに47回開催し、193人が貴重な体験を発表しました。



「第46回体験発表会」で、パワーポイントを利用して発表する前橋市粕川町の正田健一さん



【写真上】

盛大に開催された「第46回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会兼平成30年度各種表彰式・記念講演会」の開会式【平成31年2月7日、前橋市大渡町「群馬県公社総合ビル多目的ホール」】



【写真左】

「第47回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会兼令和元年度各種表彰式・記念講演会」で熱心に発表を聞く参加者【令和2年2月4日、前橋市元総社町「群馬建設会館ホール」】

第7回から営農推進協議会と共催で開催

「群馬用水地域利水改善グループ体験発表会」は、併催事業として第7回（昭和55年2月2日、群馬県民会館）から、群馬用水営農推進協議会との共催により、「各種表彰式」が加わりました。また、第15回（昭和63年2月10日、群馬県農協ビル）からは「記念講演会」が加わり現在の内容となりました。



「令和元年度各種表彰式」で、受賞者に会長賞を授与する営農推進協議会の竹内敏夫会長（当時）



「第46回体験発表会」で、講評を述べる群馬県農政部普及指導室の藤井俊弘室長（当時）



「平成30年度記念講演会」で講演する講師の前橋青果株式会社の新宮晋社長



「第四十七回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会兼令和元年度各種表彰式・記念講演会」で審査報告を聞く参加者（令和二年一月四日、前橋市元総社町「群馬建設会館ホール」）

2 視察研修会

視察研修会は39回開催

「群馬用水地域利水改善グループ視察研修会」は、当協議会が設立された昭和47年度から開催され、今までに39回開催しました。なお、平成21年度から代替事業として「野菜消費拡大イベント」を9回開催しましたが、平成30年度から「視察研修会」を再開しました。ただし、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により中断しています。



【写真右上】

「平成30年度視察研修会」で、新品種などの展示ほ場を視察する 参加者等【平成30年11月15日、埼玉県加須市「トキタ種苗KK大根研究農場（オープンデー2018会場）」】



【写真右下】

「令和元年度視察研修会」で、農産物直売所やbuffet型スタイルで人気のレストランについて、担当者から説明を聞く参加者【令和元年11月28日、茨城県茨城郡茨城町「ポケットファームどきどき（JA全農いばらき）」】



「令和元年度視察研修会」で、スマート農業等について説明を聞く参加者【令和元年11月28日、茨城県つくばみらい市「夢ある農業総合研究所（井関農機KK）」】



「平成29年度野菜消費拡大イベント」で、群馬用水受益地域で生産された野菜を配布【平成29年10月3日埼玉県熊谷市「JR東日本熊谷駅」】

3 営農関係情報交換会

「群馬用水地域営農関係情報交換会」は、例年総会に引き続き開催しています。関係指導機関より、管内農業に関する課題を提供していただき、受益地域の農業振興にも大変役立っています。



〔写真上〕

「令和2年度情報交換会」で、提供課題について説明する指導機関の関係者【令和2年7月14日、群馬用水土地改良区】

〔写真左〕

「令和3年度情報交換会」で、熱心に説明を聞く出席者【令和3年7月29日、群馬用水土地改良区】

4 営農関係調査研究会

「群馬用水地域営農関係調査研究会」は、令和元年度に群馬用水運営対策協議会との共催事業としてスタートしました。令和2年度より、新型コロナウイルス感染症の影響で中断していましたが、今年度再開しました。県内の関係機関等を訪問して、新技術等について調査研究しています。



「第1回調査研究会」で、ICT園芸施設について説明を聞く参加者【令和元年9月26日、群馬県立農林大学校】



「第1回調査研究会」で、鳥獣害対策について説明を聞く参加者【令和元年9月26日、群馬県鳥獣被害対策支援センター】



「第2回調査研究会」で、きゅうり・なす選果場について説明を聞く参加者【令和4年11月28日、JA前橋市】



「第2回調査研究会」で、露地野菜の試験研究について説明を聞く参加者【令和4年11月28日、群馬県農業技術センター】

地域とともに生きる群馬用水の歩みと営農活動No.3

利水改善グループ視察研修会を39回開催

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会は、昭和47年8月に設立されてから、本年度50周年を迎えました。この間、当協議会の主要事業として「群馬用水地域利水改善グループ視察研修会」を39回開催し、群馬用水受益地域の農業振興に貢献してきました。第1回目の「視察研修会」は、当協議会が設立された初年度の昭和48年3月に、一泊二日の日程（山梨県）で開催されました。以後、平成20年度まで毎年度開催されましたが、平成21年度から代替事業として「野菜消費拡大イベント（東京都、埼玉県）」を9回開催しました。平成30年度から「視察研修会」を再開しましたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により中断しています。

なお、「視察研修会」の開催状況については、表1及び表2をそれぞれご覧下さい。



「平成30年度視察研修会」で、熱心に視察する参加者【平成30年11月15日、埼玉県加須市「トキタ種苗KK大根研究農場」】



「令和元年度視察研修会」で、熱心に視察する参加者【令和元年11月28日、茨城県つくばみらい市「夢ある農業総合研究所」】

表1 群馬用水地域利水改善グループ視察研修会開催一覧表

回数	期日	会場
1	昭和48年3月6日～7日	山梨県
2	昭和48年9月4日～5日	千葉県、神奈川県
3	昭和49年9月5日～7日	静岡県、愛知県
4	昭和50年9月3日～4日	茨城県
5	昭和51年9月2日～3日	長野県
6	昭和52年9月1日～2日	長野県
7	昭和53年8月30日～31日	千葉県
8	昭和54年8月29日～30日	福島県
9	昭和55年9月2日～3日	山梨県、長野県
10	昭和56年9月8日～9日	新潟県
11	昭和57年9月9日～10日	山梨県、神奈川県
12	昭和58年9月8日～9日	千葉県
13	昭和59年8月28日～29日	埼玉県、神奈川県
14	昭和60年8月29日～30日	宮城県
15	昭和61年8月27日～28日	新潟県
16	昭和62年8月27日～28日	群馬県、栃木県
17	昭和63年9月5日～6日	長野県
18	平成元年9月4日～5日	富山県、石川県
19	平成2年9月3日～4日	埼玉県、東京都
20	平成3年11月14日～15日	茨城県、東京都

回数	期日	会場
21	平成4年9月2日～3日	新潟県
22	平成5年9月2日～3日	長野県
23	平成6年9月5日～6日	福島県
24	平成7年9月6日～7日	新潟県
25	平成8年9月19日～20日	静岡県
26	平成9年9月4日～5日	福島県
27	平成10年9月9日～10日	岐阜県
28	平成11年9月2日～3日	山梨県
29	平成12年9月4日～5日	富山県、石川県
30	平成13年9月5日～6日	福島県
31	平成14年9月5日～6日	長野県
32	平成15年9月4日～5日	千葉県
33	平成16年9月2日～3日	新潟県
34	平成17年9月1日～2日	栃木県、茨城県
35	平成18年8月30日～31日	山梨県
36	平成19年9月5日～6日	茨城県
37	平成20年8月26日～27日	新潟県、福島県
38	平成30年11月15日	埼玉県、東京都
39	令和元年11月28日	茨城県

表2 群馬用水地域利水改善グループ視察研修会開催実績

回数	期 日	会 場
1回 (昭和47)	昭和48年3月6日～7日 (一泊二日)	●山梨県韮崎市「釜無川土地改良区」 ●山梨県山梨市「山梨県果樹試験場」 (山梨県甲府市「湯村ホテル」)
2回 (昭和48)	昭和48年9月4日～5日 (一泊二日)	●千葉県及び神奈川県 (千葉県習志野市「習志野市国民宿舎」)
3回 (昭和49)	昭和49年9月5日～7日 (二泊三日)	●愛知県豊橋市「豊川用水土地改良区」 ●愛知県田原市「渥美フラワーセンター」 (静岡県浜松市国民宿舎「舘山寺荘」、愛知県田原市伊良湖国民休暇村「しおさい荘」)
4回 (昭和50)	昭和50年9月3日～4日 (一泊二日)	●茨城県水戸市「茨城県農業試験場」 (茨城県東茨城郡大洗町「ホテルかもめ荘」)
5回 (昭和51)	昭和51年9月2日～3日 (一泊二日)	●長野県松本市「中信平の農業」 (長野県安曇野市「有明荘」)
6回 (昭和52)	昭和52年9月1日～2日 (一泊二日)	●長野県塩尻市「洗馬地区の野菜産地」
7回 (昭和53)	昭和53年8月30日～31日 (一泊二日)	●千葉県長生郡一宮町「野菜産地」 (千葉県長生郡一宮町国民宿舎「一宮荘」)
8回 (昭和54)	昭和54年8月29日～30日 (一泊二日)	●福島県須賀川市「岩瀬農業改良普及所(夏秋キュウリ産地)」 ●福島県伊達市「伊達農業改良普及所(果樹産地)」 ●福島県田村市「あぶくま洞」 (福島県福島市飯坂温泉「みちのく荘」)
9回 (昭和55)	昭和55年9月2日～3日 (一泊二日)	●山梨県甲州市「勝沼自然休養村(果樹産地)」 ●長野県佐久市「雑排水処理施設」
10回 (昭和56)	昭和56年9月8日～9日 (一泊二日)	●新潟県魚沼市「野菜及び花き産地」 ●新潟県長岡市「錦鯉センター」
11回 (昭和57)	昭和57年9月9日～10日 (一泊二日)	●山梨県都留市「南都留農業改良普及所(富士北麓の夏野菜産地)」 ●神奈川県相模原市「相模原農業改良普及所(促成イチゴ産地)」
12回 (昭和58)	昭和58年9月8日～9日 (一泊二日)	●千葉県佐原市佐原「北総東部土地改良区」 ●千葉県旭市「島田園(ハウスメロン栽培)」 ●千葉県銚子市「醤油工場」 (千葉県旭市国民宿舎「飯岡荘」)
13回 (昭和59)	昭和59年8月28日～29日 (一泊二日)	●埼玉県狭山市「堀兼農業協同組合(野菜産地)」 ●神奈川県横須賀市「横須賀農業改良普及所(三浦半島の野菜産地)」 ●神奈川県鎌倉市「鶴ヶ丘八幡宮」 (神奈川県逗子市「臨海荘」)
14回 (昭和60)	昭和60年8月29日～30日 (一泊二日)	●宮城県亶理郡渡里町「亶理農業改良普及所(花き及びイチゴ産地)」(宮城県宮城郡松島町「ホテル壮観」)
15回 (昭和61)	昭和61年8月27日～28日 (一泊二日)	●新潟県三条市「南蒲原農業改良普及所(モモ産地)」 ●新潟県新津市「中東蒲原農業改良普及所(ポタン苗木及び花き球根産地)」 (新潟県新発田市月岡温泉「ホテル泉慶」)
16回 (昭和62)	昭和62年8月27日～28日 (一泊二日)	●群馬県太田市「東毛地区の野菜産地」 ●栃木県日光市「日光江戸村」 (栃木県日光市湯西川温泉「伴久ホテル」)

回数	期 日	会 場
17回 (昭和63)	昭和63年9月5日～6日 (一泊二日)	●長野県中野市「下高井農業改良普及所 (果樹産地)」 ●長野県松本市「松筑農業改良普及所 (野菜産地)」 (長野県松本市浅間温泉「ウエストーンホテル」)
18回 (平成元)	平成元年9月4日～5日 (一泊二日)	●富山県南砺市「城端農業改良普及所 (果樹産地)」 ●石川県金沢市「特別名勝兼六園」 (石川県七尾市和倉温泉「ホテル海望」)
19回 (平成2)	平成2年9月3日～4日 (一泊二日)	●埼玉県川越市「川越農業改良普及所 (野菜産地)」 ●東京都大田区「東京園芸情報センター (青果及び花き市場)」 ●東京都渋谷区「NHK放送センター」 (東京都千代田区「九段会館」)
20回 (平成3)	平成3年11月14日～15日 (一泊二日)	●茨城県下妻市「霞ヶ浦農業用水推進協議会 (灌水施設)」 ●東京都「(全国農林水産祭)」 (茨城県潮来市「潮来富士屋ホテル」)
21回 (平成4)	平成4年9月2日～3日 (一泊二日)	●新潟県佐渡市「佐渡農業改良普及所 (果樹 (おけさ柿) 産地)」 ●新潟県佐渡市「マルダイみそ (味噌蔵)」・新潟県佐渡市「史跡 佐渡金山」 (新潟県佐渡市「やまきホテル」)
22回 (平成5)	平成5年9月2日～3日 (一泊二日)	●長野県松本市「中信平右岸土地改良区 (野菜及び果樹産地)」・ 長野県松本市「信州博覧会 (松本平広域公園緑地)」 ●長野県松本市「国宝松本城」 (長野県松本市浅間温泉「ホテル井筒」)
23回 (平成6)	平成6年9月5日～6日 (一泊二日)	●福島県会津若松市「北会津村農業協同組合 (野菜及び花き (ス トック) 産地)」 ●福島県会津若松市「鶴ヶ城」 (福島県会津若松市東山温泉「ホテルキャニオン」)
24回 (平成7)	平成7年9月6日～7日 (一泊二日)	●新潟県村上市「神林村農業協同組合 (野菜 (県北砂丘地域のや わ肌ネギ) 産地)」 ●新潟県西蒲原郡弥彦村「弥彦神社」 (新潟県村上市瀬波温泉「ホテルすずきヶ池」)
25回 (平成8)	平成8年9月19日～20日 (一泊二日)	●静岡県田方郡函南町「東部農業改良普及センター (箱根西麓の 野菜産地)」・静岡県伊豆市「浄蓮の滝」 (静岡県賀茂郡東伊豆町稲取温泉「稲取観光ホテル」)
26回 (平成9)	平成9年9月4日～5日 (一泊二日)	●福島県いわき市「いわき農業改良普及センター (やわらかネギ 産地)」 ●福島県田村市「あぶくま洞」 (福島県いわき市いわき湯本温泉「古滝屋」)
27回 (平成10)	平成10年9月9日～10日 (一泊二日)	●岐阜県高山市「飛騨農業改良普及センター (野菜産地)」 ●岐阜県下呂市「下呂温泉合掌村」 (岐阜県下呂市下呂温泉「望川館」)
28回 (平成11)	平成11年9月2日～3日 (一泊二日)	●山梨県北杜市「北巨摩農業改良普及センター (夏秋トマト産地)」 ●山梨県南都留郡鳴沢村「道の駅なるさわ」 ●山梨県甲府市「武田神社」 (山梨県南巨摩郡見延町下部温泉「下部ホテル」)
29回 (平成12)	平成12年9月4日～5日 (一泊二日)	●富山県下新川郡朝日町「新川農業改良普及センター (大豆集団 栽培)」 ●石川県松任市「手取川七ヶ用水土地改良区」 ●石川県金沢市「特別名勝兼六園」 (石川県七尾市和倉温泉「ホテル海望」)

回数	期 日	会 場
30回 (平成13)	平成13年9月5日～6日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●福島県須賀川市「須賀川農業改良普及センター（夏秋キュウリ産地）」 ●福島県須賀川市「農林水産館（うつくしま未来博）」 (福島県福島市飯坂温泉「飯坂観光ホテル叶や」)
31回 (平成14)	平成14年9月5日～6日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●長野県東筑摩郡朝日村「信濃朝日農業協同組合（野菜育苗事業及びレタス産地）」 ●長野県更埴市「おばすて棚田保全事業」 ●長野県長野市「国宝善光寺」 (長野県下高井郡山ノ内町湯田中温泉「よろづやアネックス湯楽庵」)
32回 (平成15)	平成15年9月4日～5日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●千葉県東金市「山武農業改良普及センター（山武地域の根深ネギ及びワケネギ産地）」 ●千葉縣市原市、長生郡長柄町「長柄ダム」 ●千葉県成田市「成田山新勝寺」 (千葉県鴨川市小湊鯛ノ浦温泉「ホテル三日月」)
33回 (平成16)	平成16年9月2日～3日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●新潟県新潟市「農事組合法人新潟育苗センター（接ぎ木苗生産状況）」 ●新潟県新潟市「農業生産法人有限会社グリーンズプラント巻（みつば及び食用ハーブの生産状況）」 ●新潟県柏崎市「柏崎トルコ文化村」 (新潟県新発田市月岡温泉「ホテル泉慶」)
34回 (平成17)	平成17年9月1日～2日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●栃木県市鹿沼市「そばの里永野」 ●栃木県芳賀郡茂木町「道の駅もてぎ（株式会社もてぎプラザ）」 (茨城県久慈郡大子町袋田温泉「思い出浪漫館」)
35回 (平成18)	平成18年8月30日～31日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●山梨県甲斐市「山梨県総合農業技術センター」 ●山梨県北杜市「サントリー白州蒸留所」 ●山梨県甲府市「武田神社」 (山梨県笛吹市春日居温泉「ホテル春日居」)
36回 (平成19)	平成19年9月5日～6日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●茨城県坂東市「渡辺農事株式会社岩井研究農場」 ●茨城県かすみがうら市「水資源機構霞ヶ浦用水」 ●茨城県つくば市「JAXA筑波宇宙センター」 (茨城県東茨城郡大洗町「大洗ホテル」)
37回 (平成20)	平成20年8月26日～27日 (一泊二日)	<ul style="list-style-type: none"> ●新潟県北蒲原郡聖籠町「新潟県農業総合研究所（園芸研究センター）」 ●福島県会津若松市「鶴ヶ城」[会津酒造歴史館] (新潟県村上市瀬波温泉「大観荘せなみの湯」)
38回 (平成30)	平成30年11月15日 (日帰り)	<ul style="list-style-type: none"> ●埼玉県加須市「トキタ種苗株式会社大利根研究農場（オープンデー2018）」 ●東京都中央区「ぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）」 ●東京都中央区「銀座三越」百貨店及び「松屋銀座」百貨店の青果売場
39回 (令和元)	令和元年11月28日 (日帰り)	<ul style="list-style-type: none"> ●茨城県東茨城郡茨城町「JA全農いばらき ポケットファームどきどき」 ●茨城県つくばみらい市「井関農機株式会社 夢ある農業総合研究所」

※一部資料が不十分のため、記載できない箇所があります。

※主要研修場所（宿泊場所を含む）は、原則として現在の市町村名です。

令和4年度営農関係情報交換会を開催

指導機関から営農関係情報12課題提供される

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会の主催による「令和4年度群馬用水地域営農関係情報交換会」を令和4年7月28日に、当連絡協議会の通常総会に引き続き、群馬用水土地改良区会議室で開催しました。当日は役員及び関係者37人が出席し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で開催しました。

本年度は、群馬用水関係指導機関の中部及び西部農業事務所普及指導課、渋川及び桐生地区農業指導センター、県農業技術センター、JA全農ぐんま園芸部から12課題の提供がありました。内訳は野菜が9課題、果樹が1課題、作物が2課題でした（下表参照）。

どの課題も当管内の農業と関わりが深く、大変有意義な交換会となりました。



【写真右上及び右下】

「営農関係情報交換会」で、提供課題について説明する管内指導機関の関係者と熱心に聞く出席者

令和4年度 群馬用水地域営農関係情報交換会 提供課題一覧表

No.	提供課題名	提供指導機関
1	露地ナス栽培における褐紋病発生実態調査	中部農業事務所 普及指導課
2	促成イチゴ栽培におけるスワルスキーカブリダニによる防除効果の確認	渋川地区農業指導センター
3	初夏ネギの省力作型の検証	西部農業事務所 普及指導課
4	長ネギチェーンポット定植における播種粒数の違いによる収量の比較	
5	キュウリネコブセンチュウの難透過性フィルムを用いた土壤消毒効果の検証	桐生地区農業指導センター
6	県産キャベツによる乳酸発酵漬物（ザワークラウト）の開発	群馬県農業技術センター
7	ハウスのニラ栽培終了後のニラ残渣に生存するネギネクロバネキノコバエの防除	
8	低コスト・省力化が可能なブドウY字樹形の開発	
9	水田における小麦「ゆめかおり」の製パン適正に優れるタンパク質含有率を確保する施肥方法	
10	水稻奨励（認定）品種「にじのきらめき（仮称）」の特性	
11	園芸作物生産実証農場の概要と令和4年度実証内容について	JA全農ぐんま 園芸部園芸販売課
12	量水器を利用したイチゴ施設栽培におけるかん水量の検証	群馬用水営農推進協議会事務局 渋川地区農業指導センター

第2回営農関係調査研究会を開催

野菜選果場や園芸の試験研究について調査

JA前橋市きゅうり・なす選果場等と群馬県農業技術センターを訪問

群馬用水運営対策協議会（後閑千代壽会長）及び群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会（坂本忠会長）の共催で、「第2回（令和4年度）群馬用水地域営農関係調査研究会」を令和4年11月28日（月）に開催しました。当日は、両組織の会員や関係者27人が参加し、貸切バスでJA前橋市（前橋市、大塚隆夫組合長）のきゅうり・なす選果場等と群馬県農業技術センター（伊勢崎市、小泉丈晴所長）を訪問しました。

最初訪問したJA前橋市では、営農部の蛭川哲夫販売専任部長より挨拶があり、続いてきゅうり・なす選果場の羽鳥正利場長及び担当職員の案内により、きゅうり・なす選果場を中心に野菜集配センター、野菜育苗センターの園芸関連3施設を視察しました。きゅうり・なす選果場は、鉄骨2階建てで総面積は1,586.5㎡あり平成30年2月に完成しました。

2番目の訪問先である群馬県農業技術センターでは、園芸部の飯塚正英部長より挨拶があり、続いて野菜第二係の小倉愉利子係長、野菜第三係の畠山雅直係長、果樹係の渡辺一郎主任研究員（果樹係長）及び担当研究員の案内により試験研究ほ場を視察しました。露地野菜ではハウレンソウ、ニラ、ヤマトイモなど、施設野菜ではトマト、イチゴなど、果樹ではブドウ、ウメ、スモモ、ナシなどの試験研究ほ場をそれぞれ視察しました。

今回開催した「調査研究会」を通じて、多くの参加者から「大変参考になった。」との声が聞かれました。



「営農関係調査研究会」で、JA前橋市きゅうり・なす選果場について説明を聞く参加者



「営農関係調査研究会」で、ハウレンソウの試験研究について説明を聞く参加者



「営農関係調査研究会」で、ブドウの試験研究について説明を聞く参加者

経験や技術を『みえる化』

イチゴ「やよいひめ」のかん水量の検証

イチゴ栽培において、かん水は収量や品質を決定する大切な要素である。土耕栽培において「イチゴはどれくらいのかん水量で栽培されているか」を、実践農家の経済栽培でかん水量を把握（みえる化）した。

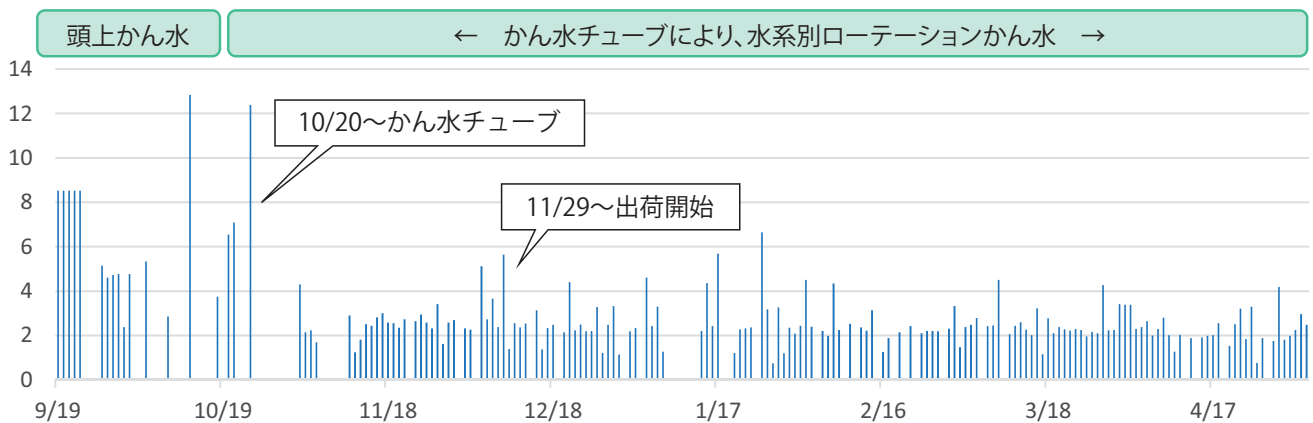


イチゴ栽培ほ場

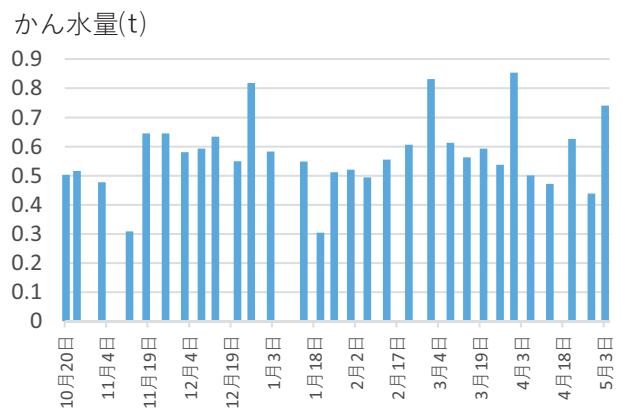
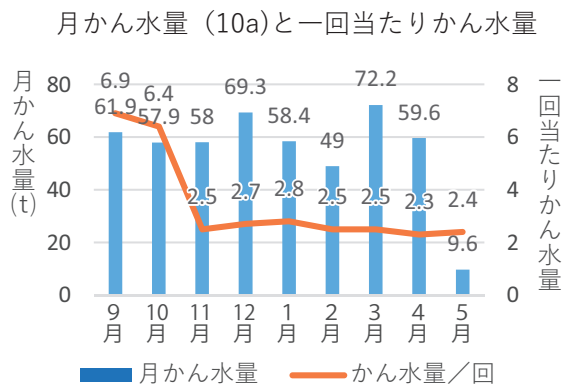


かん水量を調べる量水器

- 1、定植から収穫終了までの総かん水量は、約500 t(m³)/10aであった（2020.9/19～5/4の場合）。6月まで収穫したとすると560 t(m³)/10aになる。



- 2、月かん水量は、9～4月で平均61 t/10aで、1日当たりでは、平均2.5 t/10aになる。
- 3、ひと畦でみると、6.5日おきに、1日平均570ℓのかん水で、1株で見ると、1.65ℓ/日になる。



- ・年間なら25mプール1.2杯分、1日なら4人家族水使用量4.4家族分使います。

令和3、4年度群馬用水地域各種表彰事業の紹介

群馬用水営農推進協議会が主催し、群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会が後援して、「令和3、4年度群馬用水地域露地ナス立毛共励会」及び「令和3、4年度群馬用水地域秋冬ネギ共励会」が表1の日程でそれぞれ開催されました。

また、「群馬用水地域優良農家表彰事業」は、群馬用水営農推進協議会の主催で開催され、令和3年度が3人、令和4年度は2人の優良農家がそれぞれ表彰されました。

露地ナス立毛共励会

露地ナス立毛共励会は、群馬用水管内の各地域から推薦されたほ場を対象に行われました。審査の結果、受賞者は表1のとおり決まり、最優秀賞は令和3年度が高崎市の生方忠義さんが、令和4年度は高崎市の吉田太郎さんがそれぞれ受賞しました。



「令和4年度露地ナス立毛共励会」での審査員による目揃い



「令和4年度露地ナス立毛共励会」での審査員によるほ場審査



「令和4年度露地ナス立毛共励会」での審査会

表1 令和3、4年度野菜共励会開催期日

年度	露地ナス立毛共励会	秋冬ネギ共励会
令和3年度	令和3年8月17日	令和3年12月9日
令和4年度	令和4年8月18日	令和4年12月8日

表2 令和3、4年度露地ナス立毛共励会の受賞者名簿

(敬称略)

年度	令和3年度			令和4年度			
	表彰名	氏名	市町村	推薦団体	氏名	市町村	推薦団体
最優秀賞		生方忠義	高崎市	J Aはぐくみ	吉田太郎	高崎市	J Aはぐくみ
	優秀賞	萱間昌弘	桐生市	J Aにったみどり	高橋照幸	榛東村	J A北群渋川
優良賞 (五十音順)		橋本祥吉	前橋市	J A前橋市	天川芳男	前橋市	J A前橋市
		石原信男	前橋市	J A前橋市	石原勝雄	前橋市	J A前橋市
		井上真騎	前橋市	J A前橋市	北爪幸夫	前橋市	J A前橋市
		須田一男	前橋市	J A前橋市	提橋知秋	桐生市	J Aにったみどり
		高橋真	榛東村	J A北群渋川	田所恭一	前橋市	J A前橋市
		都丸大介	渋川市	J A赤城たちばな	田中礼子	渋川市	J A赤城たちばな
		降籟敏雄	前橋市	J A前橋市	柳井静夫	前橋市	J A前橋市

秋冬ネギ共励会

秋冬ネギ共励会は、群馬用水管内の各地域から推薦されたほ場を対象に行われ、審査の結果受賞者は表3のとおり決まりました。最優秀賞は令和3年度が渋川市の青木義二さんが、令和4年度は渋川市の三田正さんがそれぞれ受賞しました。



「令和4年度秋冬ネギ共励会」での審査員によるほ場審査



「令和4年度秋冬ネギ共励会」での審査会



「令和4年度秋冬ネギ共励会」での審査員による目揃い

表3 令和3、4年度秋冬ネギ共励会の受賞者名簿

(敬称略)

年度 表彰名	令和3年度			令和4年度		
	氏名	市町村	推薦団体	氏名	市町村	推薦団体
最優秀賞	青木 義二	渋川市	J A赤城たちばな	三田 正	渋川市	J A赤城たちばな
優秀賞	北爪 桂一	前橋市	J A前橋市	小渕 洋一	吉岡町	J A北群渋川
	南雲 武次	吉岡町	J A北群渋川	三浦 恒雄	前橋市	J A前橋市
優良賞 (五十音順)	石川 孝行	前橋市	J A前橋市	石川 セキ子	前橋市	J A前橋市
	小林 秀雄	前橋市	J A前橋市	小林 敬	前橋市	J A前橋市
	関口 幸男	前橋市	J A前橋市	坂本 忠	前橋市	J A前橋市
	田村 一郎	高崎市	J Aはぐくみ	(株)ジズノーマ	高崎市	J Aはぐくみ
	町田 勝子	前橋市	J A前橋市	吉田 勝志	前橋市	J A前橋市

群馬用水有効利用の優良農家を表彰

「群馬用水地域優良農家表彰事業（群馬用水営農推進協議会主催）」は、群馬用水の水利用により、生産性・経済性において地域の模範となる生産者を表彰するもので、令和3、4年度の受賞者は表4のとおりです。

表4 令和3、4年度優良農家受賞者名簿

(敬称略)

年度	氏名	市町村	営農類型	推薦団体
令和3年度	茂木 美一	前橋市	露地野菜	J A前橋市
	高橋 照幸	榛東村	複合経営	J A北群渋川
	新井 和芳	桐生市	露地野菜 +水稲	J Aにったみどり
令和4年度	下田 三徳	渋川市	複合経営	J A赤城たちばな
	須田 一男	前橋市	露地野菜	J A前橋市

令和4年度 群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 役員名簿

役職名	氏名	所属グループ	役職名	氏名	所属グループ
会長	坂本 忠	JA前橋市粕川地区露地生産部会 グリーン21	委員	高橋 正樹	赤城橘花卉園芸組合
副会長	皆川 孝	JA北群渋川ねぎ部会	委員	生方 隆	赤城橘雨よけほうれん草組合
副会長	高橋 正好	JAはぐくみねぎ部会	委員	藤川 三雄	赤城橘ネギ部会
委員	小野里 伸哉	芳賀花・植木園芸組合	委員	小林 啓一	赤城橘ソ菜組合
委員	柳井 静夫	JA前橋市富士見地区園芸協議会	委員	萩原 勝吉	赤城橘椎茸組合
委員	松村 勝幸	JA前橋市粕川地区露地生産部会	委員	竹内 敏雄	久留馬選果場梨部
委員	飯塚 永一	JA北群渋川ねぎ部会 榛東村下仁田ネギ生産組合	委員	島方 当己夫	JAはぐくみみさと梅部会
委員	南 博	榛東村園芸生産組合	委員	岡本 昭夫	JAはぐくみ東部園芸出荷部会
委員	二ノ宮 武夫	JA北群渋川にら部会	監事	森田 幸道	赤城橘ソ菜組合
委員	斉藤 晃	子持園芸組合	監事	池田 一美	子持園芸組合
			参与	小和瀬 眞一	JAはぐくみみさと梅部会
			顧問	後閑 千代壽	群馬用水土地改良区(理事長)

お知らせ

☆視察研修会、体験発表会及び記念講演会は中止に

令和4年度事業として計画されていた「群馬用水地域利水改善グループ視察研修会」と「群馬用水地域利水改善グループ体験発表会及び記念講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、誠に残念ですが前年度に続き今年度も中止になりました。会員並びに関係者の皆さんにご理解頂くと共に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈りたいと思います。

☆単位利水改善グループを支援

当協議会加入の単位利水改善グループ活動を支援するため、今年度の新規事業として「令和4年度群馬用水地域単位利水改善グループ支援事業」を導入しました。なお、詳細については事務局（群馬用水土地改良区）へお問い合わせ下さい。

●●● あとがき ●●●

会員の皆さんには、日頃から利水改善グループの活動についてご協力頂き、誠に有り難うございます。前年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、恒例の体験発表会や視察研修会など中止になった事業があり大変残念でした。さて、利水改善グループは昭和47年8月に設立されてから今年度50周年を迎えました。これも会員の皆さんの努力と関係者の方々からのご支援のお陰だと思えます。今号では、「写真で見る利水改善グループの活動」や当会の主力事業である「視察研修会」について特集しました。これからも、紙面の充実に努めたいと思いますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

(事務局 町田)



群馬用水土地改良区の記念碑と満開のシダレザクラ

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会

事務局 群馬用水土地改良区

〒371-0844
 群馬県前橋市古市町406番地
 TEL.027-251-0019
 FAX.027-253-9491
 URL_ <https://gunmayousui.jp>



群馬用水土地改良区のHPをリニューアルしました。